

空き家の実態と再建に向けて

地歴公民ゼミ

①テーマ設定の理由

班員の1人が空き家に注目



調べてみると米沢には使われていない空き家がたくさん



米沢の発信・地域改善に繋げよう！

20年で1.8倍(米沢)

②空き家とは？

1年以上住んでいない、または使われていない家を「空き家」と定義している

具体的な判断としては、市町村が空き家対策措置法に基づいて調査を行う際、

- ①建築物の用途
- ②人の出入りの有無
- ③電気・ガス・水道の使用状況
- ④建築物の適切な管理が行われているか

などによって空き家かどうかを判断する

空き家率(山形県)

平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
7.1%	9.6%	11.0%	10.7%

(米沢市ホームページより)

③校内でのアンケート 先生 32名対象

Q1 身の周りに空き家がありますか？

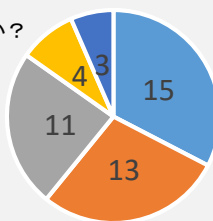
A. Yes 16人 No 16人

Q2 空き家があることで何か問題がありますか？

■ 衛生面 ■ 防犯面 ■ 倒壊の危険 ■ 過疎化 ■ その他

Q3. 空き家を減らすためにどのような策が考えられるか？

- ・空き家の解体・撤去が安価で行われるようにする
- ・低賃料でのレンタル、リフォーム
- ・リノベーションによる利用
- ・空き家を活用し、町を活気づける
- ・行政面、法律面での対応
- ・跡継ぎ問題
- ・SNSを利用して情報共有



このアンケートを通して

地域によって空き家の数は異なることが分かった。空き家が増加することで衛生・防犯面での問題や倒壊の危険性などの多くの問題点が生じる。また、法律面での策が多くあげられた。

空き家を減らすにはどんな策が必要か？

- ・解体・撤去が安価で行われる
- ・低賃料でのレンタル、リフォーム
- ・行政面、法律面での対応

～空き家を活用している方へのインタビュー(1)～

〇〇 〇〇さん (〇〇大学〇年)

米沢市出身

“米沢”をきっかけにたくさんの
素敵な仲間に出会う。

生まれ故郷米沢の魅力を首都圏の
若者たちに伝えるプロジェクトを企画。
プロジェクトの拠点として、空き家を活用
している。

④インタビュー(1)のまとめ

1. 空き家の所有者と借りる人の信頼関係が大切
2. 条件として家の状態が一番重要である
3. 住む目的として利用されているのではなく、何かの活動場所として利用されていることが多い

～空き家を活用している方へのインタビュー②～

〇〇 〇〇さん

地域を活性化するための各種イベントの企画・運営に携
わっている。多くの学生団体・サークルなどと一緒に活動し、
その拠点として空き家を借りたことがある。

⑤インタビュー(2)のまとめ

1. 所有者と直接話し合うことが大切である
2. 空き家を貸す側の気持ちも配慮する
3. サイトでは解決できない場面も多くある
→信頼関係が重要となる

⑥まとめ

空き家は悪いイメージがあるが、それらを解決するには国や自治体の補助が必要不可欠である。また、空き家を活用することで数を減らそうとするならば、補助だけではなく、貸す方と借りる方の信頼関係が成り立つ必要もある。その際には空き家の所有者と使う目的や使用時の注意事項などを直接話し合い、お互いが理解した上で空き家を使うことが大切だ。アンケート作成時には、記述式にしてしまったため、集計が大変だったという課題点もあげられた。